

元氣をもらえたといいま
す。

あきらめずに頑張れば 何でもできる

みかん農家だった実父の
病氣も辻さんの生き方に影
響を与えました。

子育てをしながら一緒に
農作業をしていた時、父親
が脳梗塞で倒れます。当た
り前に動いていた体が急に
動かなくなると誰しも大き
なストレスを抱えるもの。
性格まで変わり、辻さんに
きつく当たるようになった
そうです。病状が回復する
見込みもなく、辻さんは病
院から自宅での療養に切り
替えます。

自宅での介護の最中、父
親をみかん畑に連れていく
と驚くべきことが起きま
す。死ぬことしか考えてい
なかった父の顔が輝くよう
な表情になったと、みかん
畑での作業や日々の暮らし
の中で徐々に体が動くよう
に。辻さんが驚くほどの奇
跡の回復をみせたのです。

平成4年に86歳で亡くな
るまで生き抜いた父につい
て、「頑張ろう」という強
い気持ちがあれば、人は「再
生」できる。そんな父の姿

を見て、あきらめずに頑張
ることの大切さを痛感しま
した」と振り返りました。

いくつになっても明るく 人生の楽しみ方のヒント

辻さんに最大の転機が訪
れたのは、夫と始めた不動
産業がバブル崩壊により夢
と消えた時のことでした。
ある日、辻さんは新聞記事
の中に「タレント養成学校
の生徒募集」という小さな
広告を見つけます。

思い切って受けたオー
ディションの結果は「合
格」。ひよんなことから畑
違いの芸能界へ飛び込む
こととなったのです。

「違う世界と想っていた
ら、ちょうど業界や時代は
私たちのような「素人」を
求めていました。私のよう
な出たがりのおぼちゃん
の一番だったんですね」と、
あるCMをきっかけに、2
年間で30本以上出演。い
つしか「浪速のCM女王」
とマスコミで話題にされる
ほどになります。

その後、辻さんは夫を引
き込み芸能プロダクション
を設立。現在は、「私も辻
さんのように輝きたい」と
いう20代から90代まで約

120人を抱えるほどに成
長しました。

辻さんは、これまでを振
り返り、「皆さんにも自分
らしい生き方、ひとときを
過ごしてほしい。そのため
には周りばかり見ていても
始まらない。きつかけ一つ
で人生楽しめるんです。一

theme 2 さまざまなたまご体験を通して「気づき」や「成長」にー。

【根雨小学校】

根雨小学校およびPTA
が行った取り組みをいくつ
か紹介します。

●児童が主体的に取り組む 活動

今年度は、児童の委員会
活動を積極的にを行い、学校
の目標の一つである「下足
場の靴そろえ」に取り組
みました。お昼に放送で毎日
学年ごとに靴がそろった割
合を伝えました。最初はな
かなかそろえるのが難し
かったようですが、次第に
そろうようになって全校で
どこも100%になる日も
多くなってきました。

これは一例ですが、児童
会が中心になって取り組む
ことで児童たち同士、気を

歩を踏み出す気持ちを持っ
てほしい」と話します。辻
さんの長女は今もクリーニ
ング工場に勤めながら、甥
や姪にプレゼントを贈り、
自分の人生を楽しんでいる
のだそう。

そんな長女がある時、辻
さんに宛てた手紙には、「私

つけたり注意し合ったりす
るなどたくさん成果が出
てきたように思います。

●日野町小・小連携事業の 合同人権学習会

解放文化祭が行われた翌
日の10月21日、下榎集会所
に根雨小学校と黒坂小学校
の6年生が集まって合同の
人権学習会を行いました。
今年度は展示物の見学を
した後、地区学習会などの
ことについて話し合いを持
ちました。

同和問題や各学校で児童
が取り組んでいる人権問題
について話し合いました。
その中で気づいたことは、
自分が身近に知っているこ
ともあるし、調べていると

はいえ、身近に感じられな

を産んでくれてありがと
う。大好き」の一言が。目
まぐるしく移ろいゆく今の
時代、辻さんの「涙あり、
笑いあり」の話の中に、人
生の楽しみ方のヒントをも
らった気がします。

いこともたくさんありまし
た。けれど、その根底には
今自分が生活している身の
回りのさまざまなことに関
づくこと、それに対して声
を出していく勇氣、それが
すぐにできなければ周りの
友だちと一緒に取り組むな
ど、みんなで取り組む力を
つけていこうとまとめまし
た。

●PTA同和教育推進部

毎年人権教育参観日を2
月に行っています。今年度
は内容こそ未定ですが、親
子で取り組むことや一緒に
活動する中で生活を考えて
いこうとしています。

今年度の解放文化祭には
餅つきのお手伝いなどに参
加していただきました。こ



▲伝える、ことの大切さを学んだ手話教室

れからさらに活動を考えながら人権問題について考えていきたいと思えます。

また、2月の最初の土曜日には親子の活動としてたこ作りをして楽しみたいと思っています。

【黒坂小学校】

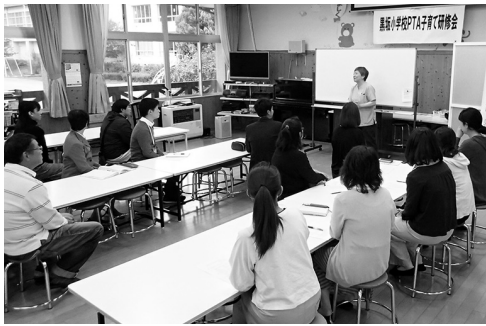
人との出会いを通して、さまざまな人権問題や生き方について考える取り組みを行っています。

●交流学習

「手話教室」では、手話ボランティアの方を講師として招き、全校児童が手話について学習しました。

「広い空の下で」という曲の歌詞に手話をつけてもらい、学習発表会で発表も行いました。

また、6年生は根雨小学



▲子どもへの性教育について考える機会に

校の6年生と解放文化祭に合わせ交流学習をしました。展示物を見学した後、日野町人権センター長の田貝さん、根雨小学校の木村先生の話をお聞きしました。身近にある差別について教えていただいたり、各校の児童が調べている人権問題についての中間発表をしたりしました。

●人権教育参観日

人権教育参観日では、全学級が年間指導計画に沿って、日ごろの人権教育の様子を保護者の皆さんに公開しました。

その後、ミオ産婦人科の葉山看護師に、「どのように性についてわが子に伝えていくか」というテーマで講演を行っていただきました。

た。

●学力の向上

一人一人の児童が主体的に学習に取り組むことで確かな学力を身に付けられるよう、授業改善と家庭学習の充実を図っています。

特に、授業では自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども、友だちとの関わり合いを通して考えを深めていく集団づくりを目指しています。

【日野中学校】

●人権弁論大会

毎年、夏休みの宿題として人権作文を書き、その中から選出して人権作文コンクールに応募しています。

また、その時に書いた作文をもとに指導を加えながら人権について自分が思うことをまとめ、10月中旬に学級ごとに人権弁論大会を実施しています。

今年度は10月21日に1・2年生が行い、10月23日に3年生が行いました。各学級での発表の後、それぞれ感想や意見を出し合い、人権についての考えを深めました。

人権弁論の取り組みは、生徒自身の人権意識を高めた。

ると共に、ほかの生徒が人権についてどんなふうにか考えているのかを知ること、学級内の人間関係の質的向上を図る良い機会にもなっています。

また、11月2日に行った本校の文化祭では、各学年代表が1人ずつ、いじめについて思うことや友だちの大切さ、人権尊重の町づくりなどについて人権弁論を発表しました。そして、11月7日の日野郡中学校総合文化祭でも学校代表の生徒が発表を行いました。

●文化祭の学年劇における取り組み

毎年、学年ごとに脚本を選り、さまざまなテーマで演劇に取り組んでいます。

特に人権にテーマを絞ってはいませんが、演じる中で人の心のぬくもりや温かさ、思いやりや気づきの大切さについて学ぶことができるような脚本が選ばれています。

今年度から「道徳」が「特別の教科 道徳」に替わり、その指導のあり方についてさまざまな実践が行われています。本校の文化祭の学級劇は「演じて感じて学ぶ

道徳」といえるものだと思います。

●日野町保学部会人権教育研修会

日野町人権教育推進計画(第8次改訂)に則る取り組みの一つとして、隔年で町内各学校持ち回りで授業研究会を行っています。

本年度は11月15日に本校で開催しました。各学級の人権に関する学活・道徳などの授業を公開した後、町内の小中学校、保育所の職員による全体会を行いました。さらに、その後の分科会では各学校、各学年段階での人権を学ぶ取り組みについて、校種を超えて意見交換を行いました。

●榎の実学習会における取り組み

今年度は5月14日に小中合同で開講式を実施。22日には、町図書館のスタッフに、絵本「かわいそうなぞう」の読み聞かせをお願いしました。

7月31日には、日野郡地区学習会交流会が下榎保健館で行われ、日南中学校の学習会参加生徒と交流を深め、言葉の大切さと人権について学習することができ